令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名					コード		
中事業名					計画区分		
担当部等	都市整備部		担当課等	下水道課			
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	3	暮らしやすいまちを創る		会計		下水道事業会計
	基本施策	15	上・下水道		款	1	資本的支出（資本的支出）
	主要施策	1	計画的な下水道整備と管理・更新		項	1	建設改良費
					目	1	管路建設費
					大		
					中		
根拠法令・条例等	下水道法、日進市下水道条例						
基本計画等	日進市公共下水道事業計画						

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	下水道管渠等の整備を行う。
対象	公共下水道事業計画区域
意図（目的）	下水道を整備することで供用開始区域を拡大し、生活環境の改善、公衆衛生の向上及び公共用水域の水質保全を図る。
手段	公共下水道の普及率を高めるため、下水道事業計画に基づき、下水道管を整備する。また、下水道管を敷設した翌年度に道路舗装本復旧を行う。

2　実施結果「DO（実施）」

				R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
事業費（千円）				265,022	239,727	348,573	277,434	379,814
財源内訳	特定財源	国庫支出金		61,175	53,150	50,609	49,000	102,110
		県支出金						
		地方債		110,200	87,500	121,000	108,700	149,500
		その他		31,627	35,840	58,652	38,964	49,220
	一般財源			62,020	63,237	118,312	80,770	78,984
総事業費（千円）				265,022	239,727	348,573	277,434	379,814

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	国庫補助の確保及び企業債の活用を図りながら、計画的な事業の進捗に努めるとともに、汚水処理人口普及率95%以上を目指すための方向性を検討する。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	財政部局や環境部局と協議を行い、下水道以外での汚水処理施設概成の方向性を検証する。

令和 3年度に取り組んだこと	赤池地区、藤枝地区、本郷地区において、公共下水道汚水管渠埋設工事を施工した。また、昨年度に管路整備を行った地区の道路舗装復旧工事を施工した。 行政改革推進委員会へ外部評価の対象事業として答申に諮った。

成果	事業計画に沿って整備できた。 外部評価結果として、「下水道整備の計画区域の縮小を検討の必要がある」と意見を受けた。
課題	今後も順調に整備を進められるように国庫交付金、企業債等の予算の確保に努める必要がある。また、下水道整備の計画区域について検討が必要である。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	C	一部改善が必要	前年度評価結果	C
評価の理由	公共下水道供用開始区域の拡大に伴い、毎年着実に下水道普及率が向上しているが、令和８年度末までの汚水処理人口普及率95%以上を目指すためには整備手法や整備区域の見直しの検討等の一部改善が必要になる。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容	国庫補助の確保及び企業債の活用を図りながら、計画的な事業の進捗に努める。 また、外部評価結果を受け、下水道計画区域の縮小に向けた手法等の検討を関係各課との調整を図りつつ進める。				
今後の方向性	成果	○ 拡充	● 維持	○ 縮小	○ 休廃止
	コスト投入	○ 拡大	● 維持	○ 縮小	○ 休廃止
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	国庫補助の確保及び企業債の活用を図る。 また、外部評価結果を受け、下水道計画区域の縮小に向けた手法等の検討を進める。				

【アウトプット指標】

指標名	供用開始面積（単年度）					単位	ha
指標データ			R2年度		R3年度		R4年度
			目標	実績	目標	実績	目標
			25.00	25.42	2.90	2.92	9.50

【アウトカム指標】

指標名	河川水質（ＢＯＤ）					単位	%
指標データ			R2年度		R3年度		R4年度
			目標	実績	目標	実績	目標
			5.0	3.0	5.0	3.3	5.0
式	BOD(生物化学的酸素要求量)とは、生物が水中にある有機物を分解するのに必要とする酸素の量(mg/ℓ)を表す指標であり、河川の汚染度が進むほど値は高くなる。						
指標の狙い	汚水処理施設の普及に伴う水質改善による生活環境の向上を目指すため。						

【アウトプット指標２】

指標名	汚水処理人口普及率					単位	%
指標データ			R2年度		R3年度		R4年度
			目標	実績	目標	実績	目標
			91.5	91.4	92.3	91.8	92.4

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名					コード		
中事業名					計画区分		
担当部等	都市整備部		担当課等		下水道課		
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	3	暮らしやすいまちを創る		会計		下水道事業会計
	基本施策	15	上・下水道		款	1	下水道事業費用（収益的支出）
	主要施策	2	下水道事業の安定的な運営		項	1	営業費用
					目	5	業務費
					大		
					中		
根拠法令・条例等	日進市下水道条例						
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	下水道使用料の徴収事務を行う。
対象	下水道使用料
意図（目的）	下水道使用料の適切な徴収を行う。
手段	愛知中部水道企業団との協定締結及び徴収事務の委託

2　実施結果「DO（実施）」

					R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
事業費（千円）					51,883	50,152	52,896	51,844	54,602
財源内訳	特定財源	国庫支出金							
		県支出金							
		地方債							
		その他							
	一般財源				51,883	50,152	52,896	51,844	54,602
総事業費（千円）					51,883	50,152	52,896	51,844	54,602

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	引き続き効率的に事務を進めるため、協定に基づき収納事務を行っている愛知中部水道事業団と連絡を密に行う。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	愛知中部水道事業団との連絡・調整を行う。

令和 3年度に取り組んだこと	過誤納金について、速やかに手続きを行い、適正な処理に努めた。徴収については、愛知中部水道事業団管轄外の対象者へ催告状を送付し、納付を促した。

成果	不納欠損額を少額に留めることができた。
課題	不納欠損額をさらに減少させる。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	B　現状のまま継続	前年度評価結果	B
評価の理由	公共下水道供用開始区域の拡大により下水道使用者が増加する中、貸倒実績率を低く抑えることができているため。		

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		引き続き効率的に事務を進めるため、協定に基づき収納事務を行っている愛知中部水道事業団と連絡を密に行う。			
今後の方向性	成果	○　拡充	●　維持	○　縮小	○　休廃止
	コスト投入	○　拡大	●　維持	○　縮小	○　休廃止
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		愛知中部水道事業団との連絡・調整を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	調定件数					単位	件
指標データ			R2年度		R3年度		R4年度
			目標	実績	目標	実績	目標
			170,000	170,623	175,000	176,014	180,000

【アウトカム指標】

指標名	貸倒実績率					単位	%
指標データ			R2年度		R3年度		R4年度
			目標	実績	目標	実績	目標
			0.17	0.17	0.16	0.26	0.20
式	不納欠損額/年度当初の下水道使用料債権の残高						
指標の狙い	貸倒実績率を減少させることにより、下水道使用者の負担の公平を図る。						

令和03年度日進市事務事業評価シート

大事業名						コード	
中事業名						計画区分	
担当部等		都市整備部		担当課等		下水道課	
総合計画		コード	名　　称	予算科目		コード	名　　称
	基本目標	3	暮らしやすいまちを創る		会計		下水道事業会計
	基本施策	15	上・下水道		款	1	下水道事業費用（収益的支出）
	主要施策	1	計画的な下水道整備と管理・更新		項	1	営業費用
					目	6	総係費
					大		
					中		
根拠法令・条例等							
基本計画等							

1　事業概要「PLAN（計画）」

事務事業の概要	下水道事業の普及促進を行う。
対象	下水道事業
意図（目的）	下水道事業を適切に推進する。
手段	下水道接続の案内、下水道接続時の排水設備工事にかかる費用の融資あっせん及び利子補給、不要となる浄化槽を雨水貯留施設に転用した場合の補助金の交付

2　実施結果「DO（実施）」

					R2予算額	R2決算額	R3予算額	R3決算額	R4予算額
事業費（千円）					127,049	126,559	137,568	130,141	159,522
財源内訳	特定財源	国庫支出金			160	40	160		160
		県支出金							
		地方債							
		その他							
	一般財源				126,889	126,519	137,408	130,141	159,362
総事業費（千円）					127,049	126,559	137,568	130,141	159,522

令和03年度日進市事務事業評価シート

○令和3年度に記載した具体的な改善内容

令和 3年度に実施する具体的な改善内容	水洗化人口の増加を目指し、計画的に事業を進めていく。また、公共下水道供用開始区域内の下水道未接続者に対して、引き続き接続勧奨を行う。
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容	新規整備区域内の接続の案内、下水道供用開始区域内の未接続者への接続勧奨を行う。

令和 3年度に取り組んだこと	新規整備区域の住民及び土地所有者を対象に接続を案内し、早期接続を促した。また、下水道供用開始区域内の未接続者への接続勧奨や浄化槽雨水貯留施設転用費補助金制度・水洗便所等改造資金融資あっせん及び利子補給制度のＰＲを行った。

成果	公共下水道供用開始区域の拡大に伴い、水洗化人口が向上し、市民生活環境の改善が進んだ。
課題	下水道未接続者に対して接続勧奨を行い、水洗化率向上の取組を進める。

３　事業の分析「CHECK（評価）」

評価結果	Ｂ	現状のまま継続	前年度評価結果	Ｂ
評価の理由	水洗化人口が増加しているため。			

４　今後の方向性「ACTION（改善）」

令和 4年度に実施する具体的な改善内容		水洗化人口の増加を目指し、計画的に事業を進めていく。また、公共下水道供用開始区域内の下水道未接続者に対して、引き続き接続勧奨を行う。			
今後の方向性	成果	○　拡充	●　維持	○　縮小	○　休廃止
	コスト投入	○　拡大	●　維持	○　縮小	○　休廃止
今後（１～３年以内）実施可能な改善内容		新規整備区域内の接続の案内、下水道供用開始区域内の未接続者への接続勧奨を行う。			

【アウトプット指標】

指標名	新規整備区域内の接続の案内件数				単位	件
指標データ		R2年度		R3年度		R4年度
		目標	実績	目標	実績	目標
		76	76	180	180	60

【アウトカム指標】

指標名	水洗化人口（公共下水道）				単位	人
指標データ		R2年度		R3年度		R4年度
		目標	実績	目標	実績	目標
		68,800	69,083	70,500	70,807	72,000
式	下水道供用開始区域内の水洗化人口					
指標の狙い	水洗化人口が増加することにより、市民生活環境の改善が進んだと考えられる。					